

「防災の日」の9月1日、ソーラーパネルなどを使った簡単な仕組みの非常用電源装置を作る講習会が瀬戸市内で開かれる。参加者募集はすでに締め切られたが、主催者は普及を目指し「多くの人に見てもらい、災害時に役立つことを確かめてほしい」と、製作過程の見学を呼び掛けている。
(阿部雅之)

災害時 電源は自前で



東日本大震災でも、電源が数日間にはわたって使えなくなり、夜間の照明やラジオ、携帯電話など、最低限必要な電力さえ得られずに苦労した避難所が少なくなかった。そこで、太陽光などを利用し、電源を確保する装置を非常時に活用しようという取り組みは全国で進んでいる。

講習会見学募る 瀬戸で来月1日

瀬戸市での講習会は効果のほかに、交流百円インバナーを接続すれば家庭用電源になる。百円インバナーは車載のものを取り外して使う。費用はソーラーパネル六千五百円、過充電などを防ぐための参加もある。

装置は、ソーラーパネルで発電した電気を自動車のバッテリーに蓄電する仕組み。直流十二電

太陽光発電 ↓ 車用バッテリーに蓄電 ↓ インバーターで家庭用に

篠原さんは「太陽光さえあれば、電池切れの心配が無用な、完全自立電源」として普及を目指し、各地で講習会を企画している。講習会を企画している。講習会を企画している。講習会を企画している。

一日は午前10時〜正午、瀬戸市苗場町の末日聖徒イエスキリスト教会瀬戸ワードで。☎篠原さん 電0561(21)5205



「組み立ては特に難しいものではなく、オートキャンプで試した人も多いはず」と篠原さん。晴天時にこまめに充電すれば、消費電力の少ない発光ダイオード(LED)電灯なら一晩中でも使え、小型のテレビ視聴も可能だ。

瀬戸、尾張旭市の消防士50人が訓練。瀬戸自動車学校で訓練した。消防車が訓練のために教習コースを走るのには極めて珍しいという。

同校が夏期休業になる二十四日、教習コースを借りた。四台のポンプ車三台で、縦列駐車やクランクコースでの前後進に挑戦。写真の真。真。真。



なごや東

ソス・デ・レイ・カ
永井 猛
南風会所属

ニュース、情報は
社会部
052-231-1650
Eメール
shakai@chunich

瀬戸支局 〒489
瀬戸市共栄通4-
0561-82-3121 Fax
日進通信部 〒470
日進市栄2-2
0561-74-2002 Fax
春日井支局
0568-81-2036 Fax
犬山通信局
0568-61-2612 Fax
小牧通信局
0568-72-1177 Fax

中日新聞への
読者センター
052-221-0800 Fax
Eメール
center@chunich

〈ひまわり11〉

8.00	こちらパト
9.00	よーいどん!
1.30	ながくてつ
2.30	メープルタ
	音楽工房C
5.00	Music
	Japan
7.30	Weekly
10.00	中国ドラマ

〈そらまめ〉

7.45	きつず☆本
10.00	まめスベ☆
17.30	キャンパニ
4.50	学校☆水南
3.00	そらまめウ
6.50	◎そらまめ
9.00	せと◇30あ
10.00	ギョウキョ
30	ハロー!マイ

〈CCNet東名〉

6.00	◎Cステ
	夏祭り 他
15	緑安寮
	安全安心TV
0.00	◎Cステ
1.30	YOUタウン
2.15	愛知警察
	安全安心TV
10.30	にっしんテ